

新潟大学長に染矢氏

前医学部長 教職員意向投票は2位

新潟大は25日、牛木辰男学長(68)の任期満了に伴う学長選考・監察会議を新潟市中央区の駅南キャンパスときめいとで開き、第17代学長に、理事で副学長、前医学部長の染矢俊幸氏(67)を選出した。任期は2026年2月1日から4年間。大学の申し出に基づき、文部科学相が正式に任命する。

染矢氏は、8月に教職員が行った意向投票では2位だった。

学長選考・監察会議の議長を務めた三輪正明・元北越製紙社長(81)は、選出理由について「教育や研究、国際化などの強みを的確に把握し、大学を発展させる具体的な方針を示していた」と説明。過去の実績や意向投票の結果を総合的に判断したとした。

声聞いて課題にまっすぐに取り組む、改革に取り組んでいきたい」と抱負を語った。

候補者は染矢氏のほか、脳研究所長の小野寺理氏(63)、理事で副学長の川端和重氏(69)。

学長選考・監察会議は学内外の10人で構成し、委員の一人で候補者の小野寺氏を除く9人で審議された。教職員の意向投票では、

会議終了後に記者会見した染矢氏は「学生一人一人の可能性を引き出すための研究と教育を進め、現場の

小野寺氏が882票、染矢氏が420票、川端氏が197票を獲得。今月22日には、教職員有志が意向投票



新潟大の新学長に選出され、記者会見する染矢俊幸氏＝25日、新潟市中央区

の結果を重視するよう求める要望書を提出していた。染矢氏は東京大医学部卒業。新潟大学評議員や医学部長などを歴任し、24年から現職。大分県出身。牛木学長は20年に就任し、現在2期目。新潟大学の学長は最長6年(1期目4年、2期目2年)との規定があり、来年1月末で退任する。